

平成 30 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 30 年 6 月 13 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 20.2～26.9℃、北～南の風、風速 3.1～3.7m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 10 時 34 分(6cm)、満潮は 17 時 17 分(199cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。5 月と比べ、シギ類はあまり見られなかった。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
作業時刻	8:00-9:25	9:45-10:54	12:22-13:31
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	20.2	24.3	26.9
風向	北	東	南
風速(m/sec)	3.1	3.5	3.7
備考	公園側の海岸に 5 人ほどの磯遊びの人が見られた。	最干潮時刻のため、干潟は広く干出していた。	沖合に船舶が停泊。網を持って歩いている人が 2,3 人見られた。ヨシ原ではオオヨシキリがさえずっていた。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
数が多かった 鳥類上位 2 種	カワウ(557 羽) コサギ(206 羽)	カワウ(421 羽) コアジサシ(186 羽)	カワウ(1438 羽) ウミネコ(120 羽)
その他の 鳥類	カルガモ、サギ類(アオサギ等)、イソシギ、ウミネコ、コアジサシ、ハクセキレイ	カルガモ、コガモ、サギ類(アオサギ等)、コチドリ、シロチドリ、ウミネコ、ハクセキレイ	カルガモ、サギ類(アオサギ等)、バン、コチドリ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ミサゴ、トビ
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要種として 4 種を確認(ダイサギ、コサギ、イソシギ、コアジサシ)。</li> <li>・第六台場ではカワウ、サギ類が営巣。ヒナの多くは親鳥大に育っていた。</li> <li>・護岸や岩礁ではカルガモ、アオサギ、カワウが休息。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要種として 6 種を確認(ササゴイ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、コアジサシ)。</li> <li>・干潟ではカワウ、アオサギ、コアジサシが休息。</li> <li>・水上ではコアジサシが採餌する姿も確認。</li> <li>・護岸や岩礁ではサギ類が採餌。</li> <li>・護岸や岩礁には多くのムクドリとドバトが採餌。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要種として 9 種を確認(ダイサギ、コサギ、バン、コチドリ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、コアジサシ、ミサゴ、トビ)。</li> <li>・汀線付近や干潟では、カワウ、ウミネコが休息。カルガモ、サギ類、ミヤコドリが採餌。</li> <li>・干潟でトビが死んだ魚を採食。</li> <li>・沖合の杭にミサゴがとまり、休息。</li> </ul>

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	5月								6月								重要種 選定基準						
				お台場海浜公園				葛西人工渚				お台場海浜公園				葛西人工渚				文化財*1 保護法	種の*2 保存法	環境省*3 RL 2018 鳥類	東京都*4 RL 2010 (区)			
				第六台 場	鳥の 島	公園 側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲 内	沖合	合計	第六台 場	鳥の 島	公園 側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲 内	沖合	合計							
1	カモ	カモ	カルガモ	4	8	1	13			5		5			7	5	2	14		2	8	8				
2			コガモ																	1						
3	カツオドリ	ウ	カワウ	382	160	8	550	72	529		529	408	140	9	557	421	1438	1438								
4	ペリカン	サギ	ゴイサギ	5			5					19														
5			ササゴイ																	1						CR
6			アオサギ	20	12		32	4	6		6	27	14	1	42	16	12	1	13							
7			ダイサギ	3			3	3	14		14	4			4					3	10					VU
8			コサギ	29			29	6	16		16	204		2	206	10	10		10							VU
9	ツル	クイナ	バン						1		1									1		1				VU
10	チドリ	チドリ	コチドリ					2	1		1					2	1		1							VU
11			シロチドリ						1							1										VU
12			メダイチドリ						1		1															国際
13		ミヤコドリ	ミヤコドリ						34		34					25			25							EN
14		シギ	チュウシャクシギ					2	9		9															VU
15			ダイシャクシギ						1		1								1		1					CR
16			アオアシシギ						6		6															NT
17			キアシシギ		4	4	8	4	8		8															VU
18			イソシギ		2	1	3	2					1		1											VU
19			キョウジョシギ	15	104	77	196	41	8		8															VU
20			ミユビシギ						28		28															EN
21			ハマシギ						14		14															NT
22		カモメ	ユリカモメ					4	1		1															
23			ウミネコ			2	2	2	38	143	181			1	1	10	117	3	120							
24			オオセグロカモメ														1		1							
25			大型カモメ <sup>A</sup>								4	4														
26			コアジサシ			6	6	22	158	7	165	1		1	186				10	10						VU
27			アジサシ						2		2															
28	タカ	ミサゴ	ミサゴ																		1	1				NT
29	タカ	トビ	トビ																	3		3				NT
30	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	2			2	1				1			1	3										
計 8目11科32種				8種	6種	7種	12種	14種	20種	2種	20種	8種	4種	5種	10種	12種	12種	4種	14種	0種	1種	4種	19種			

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

A:大型カモメに分類されるセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数には数えない。

\*1文化財保護法:

\*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

\*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類,NT:準絶滅危惧

参照: [http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\\_f.html](http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html)

環境省自然環境局野生生物課. 2018年. 環境省第4次レッドリスト.

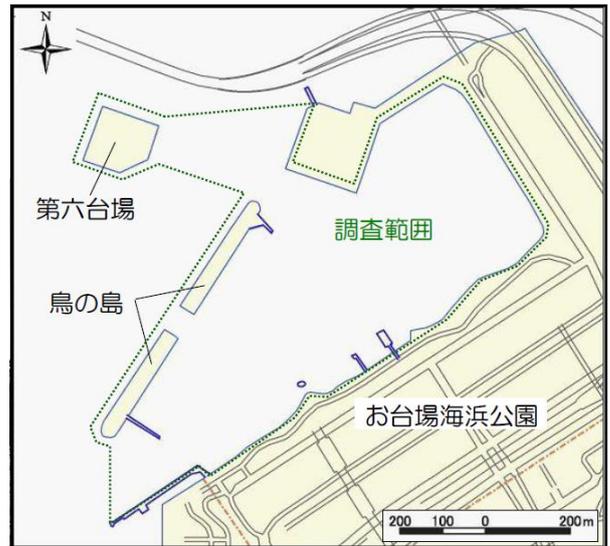
\*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧ⅠA類,EN:絶滅危惧ⅠB類,VU:絶滅危惧Ⅱ類,NT:準絶滅危惧,留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～2010年版.

## <お台場海浜公園>

### ○調査地点の状況

第六台場ではカワウとサギ類が営巣していた。



### ○出現種(カワウ)

多くは巣立っていたが、まだ巣立ち前と思われるヒナも見られた。身体は親鳥ほどの大きさに成長していた。利用されている巣は、第六台場で51巣、鳥の島では2巣確認。繁殖が終わり、空となった巣も多く見られた。



### ○出現種(コサギ)

第六台場ではゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギの繁殖が確認された。特にコサギが多く、大きく成長したヒナの姿も見られた。ダイサギに似るが、コサギでは足の指が黄色いのが特徴。東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

### ○出現種(イソシギ)

岩礁で採餌していた。東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。他のシギと違い一年中見ることが出来る。腰を上下に振りながら歩き、昆虫などを捕食する。腹は白く、その白い部分が胸側部分に入り込んでいるのが特徴。



## ＜森ヶ崎の鼻＞

### ○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



### ○出現種(コガモ)

子供のカモではなく、小型のカモという意。北米大陸などで繁殖し、冬鳥として全国の水辺に渡来するが、中部地方以北や北海道などでもごく少数が繁殖する。通常この季節に見かけることはないため、ケガか病気で飛べなくなっていた可能性がある。



### ○出現種(コアジサシ)

コアジサシは干潟での休息や水上での採餌が確認された。森ヶ崎水再生センター屋上の人工営巣地では6月16日の時点で成鳥約200羽、推定営巣数554巣、6月13日にヒナの誕生がNPO 法人リトルターン・プロジェクトによって確認されている。

<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20180617/1529250678>

<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20180613>

### ○干潟利用状況

干潟ではカワウの群れ、アオサギ、ウミネコが休息。



## <葛西人工渚>

### ○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



### ○出現種(トビ)

3羽確認された。2羽は杭の上で休息。1羽は干潟で死んだ魚を食べていた。東京都レッドリスト(2010)で準絶滅危惧(NT)に指定されている。「トンビ」とも呼ばれ、「ピーヒョロロロ…」と鳴く事で知られる。狩猟に頼らず、動物の死骸を食べたり、生ゴミなどを漁することも多い。



### ○出現種(カルガモ)

干潟で採餌。カモ類は冬季に渡来するものが多いが、本種は留鳥として一年中見ることが出来る。また、カモ類は雌雄で羽色が異なるものが多いが、本種では雌雄同色である。植物食の傾向が強く、嘴を水に入れて植物の種などを食べる。

### ○干潟利用状況

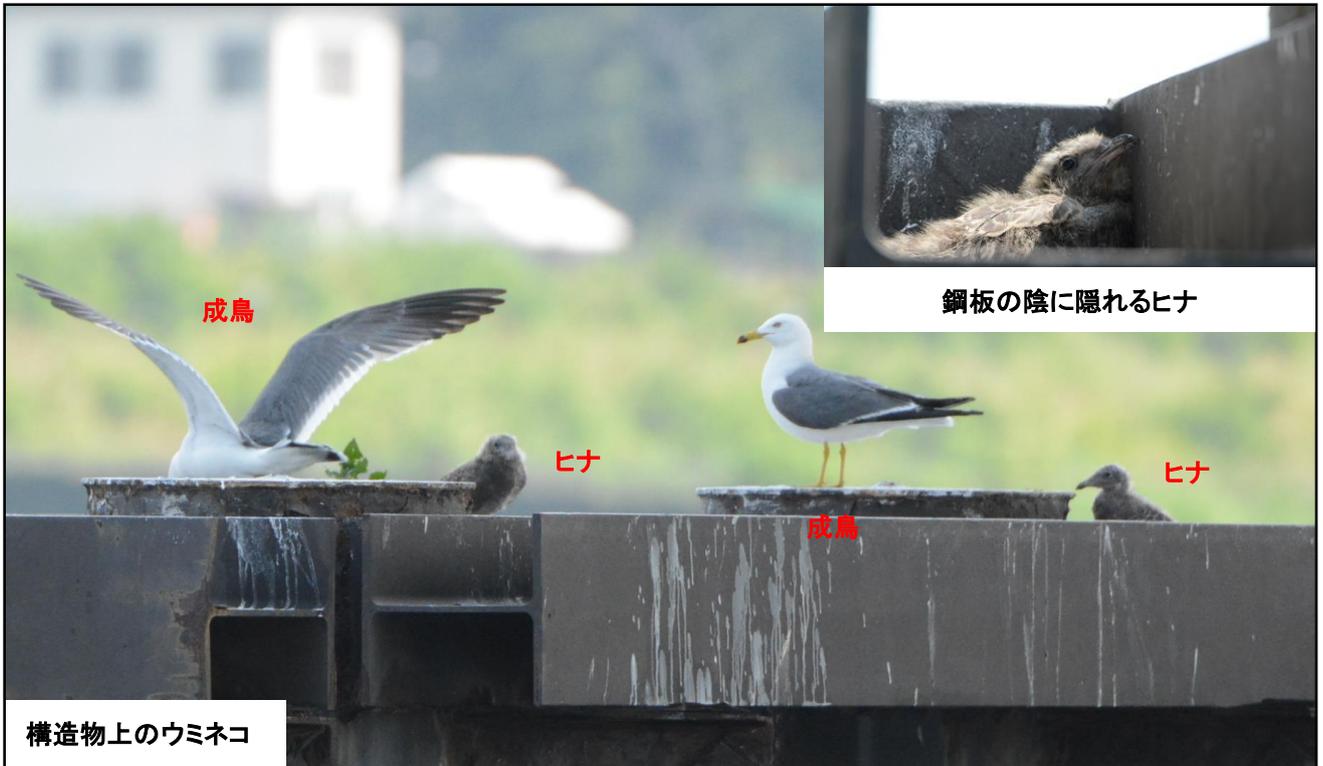
干潟や汀線付近ではカワウ・ウミネコが休息、アオサギ・ダイサギ・コサギ・ミヤコドリ・ダイシャクシギが採餌していた。



## <その他>

### ○ウミネコの繁殖

平成 27 年度 6 月の調査で運河の構造物上でウミネコのヒナが確認された。今季も繁殖している可能性が考えられたため、利用状況を確認したところ、成鳥 32 羽、ヒナは少なくとも 5 羽が確認出来た。いずれのヒナもまだ巣立ち前であり、座り込むと鋼板の陰に隠れてしまうほど小さかった。



## <トピックス>

### ～ ササゴイ ～

森ヶ崎の鼻の岩礁でササゴイが観察された。翼の羽根の縁が白く、笹の葉に見えることが和名の由来とされる。日本には夏鳥として渡来。夕方に活動するケースが多いが日中に活動することもある。河川、湖沼、水田、海岸などの水辺で見られ、主に魚類を捕食する。水面に虫や葉っぱなどを投げ込み、寄ってきた魚を捕える賢い個体もいる。本種は東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧 I A 類(CR)に指定されている。

